

第3期「日野人げんき！」プラン

令和元年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

【第3期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間:平成28年度～令和2年度

≪目的≫ **健康寿命延伸のための取り組みの推進**
〔取り組みの方向〕 **ヘルスケア・ウエルネス戦略**

上記を掲げ大目標1～8を設定
大目標1～4については本プランで推進。
大目標5～8については他の部門の事業・計画により推進。

【令和元年度評価の方法について】

・評価体制:『主管課評価』 → 『評価推進委員会』の2段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『評価推進委員会』「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー

- (1) 公募による市民代表3名
- (2) 医師会推薦1名、歯科医会推薦1名、薬剤師会推薦1名
- (3) 日野市職員3人…健康福祉部長、子ども部長、教育部長

令和元年度評価については、評価方法の見直しを行い評価推進会議及び庁内評価会議の2部構成であった評価会議を評価推進会議の1本化とした。

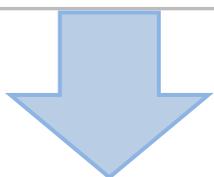
・評価の基準:下記5段階で設定

- | | |
|----------|-------------------------|
| 「達成」 | 指標が10割または完全に達成されている |
| 「順調」 | 指標が約8割達成、または順調に進んでいる |
| 「おおむね順調」 | 指標が約5～6割達成、進んでいる |
| 「一部見直し」 | 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要 |
| 「全面見直し」 | 全面的な修正を要する |

令和元年度評価内容

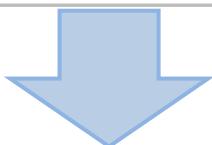
主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・主管課での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・3、「順調」・・・4、「おおむね順調」・・・9
平成30年度に比べ「達成」の評価が増えている。（後ページ【参考資料】参照）
- ・数値目標の設定に一般アンケートの結果を用いた目標設定をしている項目では指標に対する実績数値が出せないため、取り組み事業の受診者数などの実績数や関連する数値を出し評価につなげた。



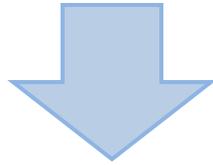
評価推進委員会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を配慮し、書面での評価推進会議を開催。各委員からの意見をまとめ評価結果とした。
- ・上記「主管課評価」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・「評価推進委員会」の審議結果報告を受け、令和元年度の評価結果として市民へ公表していく。
- ・評価推進委員会での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・3、「順調」・・・4、「おおむね順調」・・・9
平成30年度にはなかった「達成」の評価を新たに得られた。
計画が着々と進行していることを評価された。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第3期「日野人げんき！」プラン令和元年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。



裏ページへ

つづき



評価推進委員会評価結果を受けて

- 平成30年度評価より「達成」の評価が増え、プランが着実に進行していることが評価されました。
「達成」の評価を得た項目については、今後も目標を維持達成するために、実施内容を継続していきます。
「達成」以外の評価については、課題を指摘されている項目があり、データ分析による別角度へのアプローチや、新型コロナウイルスの影響を踏まえた体制づくりなど、時代の変化に沿った新たな要素を盛り込んだ事業展開が必要とされました。
- 今後は、「評価推進委員会」の評価結果をもって各主管課にフィードバックしています。
本評価を含め主管課で検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。

第3期「日野人げんき！」プラン令和元年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記5段階で設定
 「達成」 指標が10割または完全に達成されている
 「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる
 「おおむね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる
 「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要
 「全面見直し」 全面的な修正を要する

大目標	中目標	中目標への令和元年度評価	令和元年度評価と課題
1、健康づくりを推進します	1 妊娠出産子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	順調	目標値はほぼ達成と評価します。子ども家庭支援センターとの連携も確立されており、今後も維持してほしいです。また、新型コロナウイルスの影響下での、安心できる体制づくりを検討してください。
	2 生活習慣病予防（国保特定健診・特定保健指導）を推進します	おおむね順調	様々な工夫をしていることは評価できるが、新型コロナウイルスの影響もあり、実績につながっていません。今後、受診者側の意識改革につとめるとともに、感染防止対策をした安全な健診体制への工夫と検討が必要です。
	3 運動による健康づくりを推進します。	おおむね順調	新型コロナウイルスの影響を受けましたが、おおむね順調と考えます。今後は、新しい生活様式に基づいた自宅にて出来る運動、指導の取り組みを検討して下さい。
	4 喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます	達成	目標は達成されており、効果的な取り組みの継続に期待します。紙巻きたばこだけでなく、電子たばこに関する正しい知識教育に取り組んでください。
	5 心の健康づくりを充実します	おおむね順調	睡眠の安定は大切なので、引き続き周知啓発に取り組んでください。今後は睡眠だけでなくストレスへの対処についての取り組みを検討して下さい。
	6 健康づくり推進員・健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。	おおむね順調	充実した活動内容となるよう、各世代ともバランスよく人材確保と育成に取り組んでください。
2、がん対策を推進します	1 科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します。	おおむね順調	胃がんリスク検査の受診率が低下しているため、問題点を探し出し、改善や受診しやすい環境づくりなど工夫が必要です。
	2 がんの早期発見を推進（2次予防）します。	おおむね順調	受診率向上のための努力は評価できます。引き続き受診勧奨の工夫と、医療機関との連携を図り、精密検査未受診者を減らすための働きかけを行ってください。
	3 がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します	達成	小中学校でのがん教育の実施が定着しており評価できます。今後も継続して取り組み、学校現場との意見交換を重ね、多くの児童生徒にがん教育が浸透するよう働きかけていってください。
	4 がん患者やその家族への支援をすすめます	大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」により評価	
3、歯とお口の健康づくりを推進します	1 【乳幼児期】歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます。	順調	目標に近い実績をあげています。今後も継続してハイリスク児の保護者に対し徹底したフォローを行ってください。
	2 【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します。	順調	中学生の実績値が少し下がっていますが、今後も関係者の連携した取り組みを継続してください。
	3 【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に健診を受診し自己管理方法を取得することでお口の健康および全身の健康を守ります。	おおむね順調	おおむね順調ですが、若い世代や働き盛りの世代の人たちのアプローチ方法への工夫が今後の課題です。
	4 【高齢期（障害含む）】自分に合った口腔ケアを実践ししっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます	おおむね順調	連携システムについては順調です。前期高齢者だけではなく対象年齢を引き上げ、飲み込み機能低下について周知啓発をさらに進めてください。
4、住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します	1 総合的な健康情報の発信の体制を確立します	達成	情報発信の体制は確立されたため、読み手を意識し、発信側の自己満足にならないようにすることと、受け取る人を増やす努力を続けてください。
	2 医療と介護の連携を推進します	おおむね順調	多職種との連携が不可欠となるので、さまざまな問題点を共有し、意思疎通を図りながら進めてください。
	3 地域連携による認知症対策を強化します	順調	取り組みについては順調であると評価します。認知症サポーター養成も進んでいるが、今後も若年層や小中学校への拡大を校長会等との協力体制により進めていく必要があります。

< 評価詳細 >

令和元年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価(詳細)

大目標 1 健康づくりを推進します

「達成状況の項目」
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

主管課評価												評価推進委員会	
No.	中目標	担当者	数値目標		実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	達成状況	評価と課題	達成状況	
			R1目標	R1実績									
(1)	妊娠・出産・子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P23～	健康課	1	切れ目ない支援を受けた割合	保健センター内に専用面接室を開設し、土曜日も妊婦面接を実施。	妊婦届出者妊婦1,461人うち、妊婦面接は1,453人に実施した。	順調	妊婦全数面接は8名とつながることができなかった。その理由として新型コロナウイルス感染症が心配という方が1名、その他は体調不良や転出など面接不可の理由がはっきりしている方がほとんどであり、必要な面接はおおむね実施できた。	順調	課内、他機関との連携体制が確立されていて、全体的に順調である。今後も勸奨方法の工夫を検討し、この状況を維持発展していく。	順調	目標値はほぼ達成と評価します。子ども家庭支援センターとの連携も確立されており、今後も維持してほしいです。また、新型コロナウイルスの影響下での、安心できる体制づくりを検討してください。	
			2	未受診児の状況の把握割合	H27年度からは転入者も含めた適正な対象者とし、未受診者フォローの全数把握に取り組んだ。	3.4か月児健診 対象者1,340人 受診者1,311人 1歳6か月児健診 対象者1,329人 受診者1,304人 3歳児健診 対象者1,437人 受診者1,418人		1歳6か月児健診と3歳児健診については受診率98%以上であった。3.4か月児健診の受診率は97%で昨年より受診率は微増している。					
			3	二種混合の接種率	対象者に年度初めに勸奨通知を送付。未接種者には再勸奨通知を送付。	対象者1,608人 接種者1,370人		予防接種は再勸奨通知を送付することができた。					
			4	未受診児の状況の把握割合	乳幼児健診未受診者に対し、電話、訪問、ハガキなどによる勸奨を実施。子ども家庭支援センターとの連携強化会議を、年4回実施し情報共有に取り組んだ。	3～4か月健診未受診児8人のうち7人を把握。(1人は勸奨中) 1歳6か月健診未受診児13人のうち10人を把握。(3人はコロナによる未受診児) 3歳児健診未受診児38人のうち23人を把握。(10人はコロナによる未受診児と5人は勸奨中) コロナの影響で受診予約が取れていたが年度内中に受診できなかった方が13人と、コロナの影響で勸奨中が6人(未把握)がいる。		未受診児に関しては、子ども家庭支援センターと連携し、全数把握の体制は確立しており、把握に努めている。					

主管課評価												評価推進委員会			
No.	中目標	担当者	数値目標		実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	達成状況	評価と課題	達成状況			
			R1目標	R1実績											
(2)	生活習慣病予防（国保特定健康診査・特定保健指導）を推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P25～	健康課	国保特定健診の受診率		個別受診勧奨（はがき、電話）を実施（保険年金課）。さらに40～64歳の若い世代向けに希望者全員に対して集団健診を実施（健康課）した。	対象者数 (R2.5月末現在) 対象者数 24,131人 受診者数 11,182人	概ね順調	健診受診率向上のため、様々な工夫を実施しているが、目標を達成できていない。 3月に実施している集団健診については新型コロナウイルスの影響によりキャンセルが多数あり受診者が減少した。	概ね順調	概ね順調	概ね順調	様々な工夫をしていることは評価できるが、新型コロナウイルスの影響もあり、実績につながっていません。今後、受診者側の意識改革につとめるとともに、感染防止対策をした安全な健診体制への工夫と検討が必要です。			
			国保保健指導の実施率										実施率向上のため、対象者へ送付するハガキの様式を変更した。また、集団面接と健康講座の企画をした。	年度途中経過 (R2.2月末現在) 対象者数 430人 受診者数 75人	年度途中で勧奨通知のハガキを様式変更し、その後受診率向上してきていたが、新型コロナウイルスの影響によりR2年にはいり、実施率が低迷した。
			メタボ該当者、予備軍の減少率												
(3)	運動による健康づくりを推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P27	健康課 文化スポーツ課	運動している人の割合		前年に引き続き「健康サポートルーム輝」の紹介と運動実施の勧奨を行った	延べ利用者数16,716人	概ね順調	引き続きリーフレットの作成・配布等行ったが、新型コロナウイルスの流行により事業を休止せざるを得なくなり、結果として利用者数は前年より減少した。	概ね順調	概ね順調	新型コロナウイルスや熱中症により、自宅でできる運動の必要性が重要視された。今後も運動により「健康づくり」の取り組み継続と、時代に沿った検討・工夫を行っていく。				
			週1回以上のスポーツ実施率									週1回以上のスポーツ実施率については、令和元年度に市民アンケート調査を実施予定。その他、スポーツ参加促進事業等を実施した。	①市民体育大会への参加者数10,530人 ②所管する市内各体育施設の年間利用者数96万人 ③ロープジャンプ小学生大会中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） ④市民の森ふれあいホール指定管理による各種運動プログラム参加者数2,416人 ⑤「ちょこっとウォーキング」参加者数254人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月実施のウォーキングは中止） ⑥「スポーツレクリエーションフェスティバル」参加者数1,420人 ⑦「障害者スポーツ体験教室や体験会」開催数19回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止）	総合的にはやや参加者が減少傾向。令和元年度2月後半から3月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントが中止となったことが主な原因である。事業によっては、予算面等により実施回数など変動することもある。	

主管課評価												評価推進委員会		
No.	中目標	担当者	数値目標		実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	達成状況	評価と課題	達成状況		
			R1目標	R1実績										
(4)	喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P29	健康課	国保受診者の喫煙率		成人の集団健診（がん検診、特定健診）にて、これまで、保健指導対象者のみに行っていた禁煙指導を、喫煙者全員に実施した。また、商工会の行う事業者向けの健診で、喫煙者に対し、禁煙相談を実施した。今後も、特定保健指導やがん検診等の場、及び職場で啓発活動を行っていく。小中学生向け禁煙教育については保健体育の学習指導要領に盛り込まれているため、また教科書選定の際に生活習慣病の単元の中でもがん予防についても触れている教科書を選定する方針の為、小中学校ともに実施率は引き続き100%となる見通しである。	25校	達成	日野市での煙草の消費本数は年々減少傾向にある。禁煙についての周知啓発は、集団教育では意識づけに結び付きにくい。今後も、健康診査や検診のように本人の健康意識が高まっているタイミングでの、喫煙者全員に対する個別の禁煙支援を実施していく。	達成	リスクと正しい知識の普及啓発の取り組みによる成果が出ている。更に禁煙率を減らしていくために今後も個別の禁煙指導等取り組みの維持継続をしていく。	達成	目標は達成されており、効果的な取り組みの継続に期待します。紙巻きタバコだけでなく、電子タバコに関する正しい知識教育に取り組んでください。		
			がん教育をした学校数										84% (21校)	100% (25校)
			たばこ税からの喫煙本数										3.04本	2.74本
(5)	心の健康づくりを充実します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P31	健康課	国保健診の間診票から「休養十分取れてない」人を集計		・市内全戸配布の広報ひので、睡眠の質、睡眠が不足した際の起こる健康リスクなどについてコラムを掲載。 ・子育て世代の女性が参加している健康課事業である「ふらっとエクササイズ」にて、睡眠の重要性の講話で周知啓発を図った。 ・不調のサインについての周知のため、日野市ホームページで心の健康づくりに関するページを作成	・広報ひの掲載1回 ・ふらっとエクササイズでの講話1回 ・日野市ホームページでのページ作成	概ね順調	目標には届いていないが、昨年より微減しており、目標にわずかに近づいた。課題として、特定健診受診者の間診アンケート内の数値を評価指標としている点、睡眠の重要性を理解していきながら状況によって満足な睡眠が得られない層がいる点より、健康教育という健康課からのアプローチでは改善を図りづらい。今後は、睡眠のみに特化せず、心の健康づくりに関する周知啓発に取り組んでいく。	概ね順調	睡眠についての啓発活動だけでは難しい課題である。心の健康づくりに関してはストレスへの対処方法などわかりやすい情報提供等の取り組みを行っていく。	概ね順調	睡眠の安定は大切なので、引き続き周知啓発を取り組んでください。今後は睡眠だけでなくストレスへの対処についての取りくみを検討して下さい。		
(6)	健康づくり推進員、健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P33	健康課	健康づくり推進員の新規人数		広報、カラー刷りのチラシ配布にて募集。その結果推進員による勧誘活動により新規登録につながった。	3名が新規登録した。日頃の活動からの勧誘により登録につながっている。平成30年度登録数51人 令和元年度登録数45人	概ね順調	令和元年度新規登録者数、令和元年度登録者数が平成30年度よりわずかに減少した。推進員の人数に応じた安全に配慮した活動の実施のための工夫が課題である。	概ね順調	日ごろの成果により、新規登録者は少ないながらもみられている。高齢者の活躍の場としての意味でも推進員及びサポーター活動は重要な場であるため、各世代からバランスのとれた人材が確保できるよう引き続き努力する。	概ね順調	充実した活動内容となるよう、各世代ともバランスよく人材確保と育成に取り組んでください。		
			健康体操サポーターの新規人数										-	3人

大目標

2. がん対策を推進します

目標1 がんによって亡くなる人を減らします

目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

主管課評価										評価推進委員会				
No.	中目標	担当課	年度目標	RI目標	RI実績	実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題	
(1)	科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P35～	健康課	1 がんに関する生活習慣の取り組み ・たばこ対策や、運動、食生活、飲酒等、がん予防に関する生活習慣の施策を展開します	たばこ・運動・食生活は「大目標1健康づくりを推進します」「大目標8食育を推進します」参照					概ね順調	受診勧奨については、B型C型肝炎ウイルス検診、胃がんリスク検査の未受診者に対し送付した。胃がんリスク検査については受診率が下がり、目標値を達成できなかった。	概ね順調	国の指針に基づいた検診を組み立てて実行できている。受診率は減少しているため、受診勧奨の更なる工夫や、仕事や家事に支障がない検診機会の提供も検討をしていく。	概ね順調	胃がんリスク検査の受診率が低下しているため、問題点を探し出し、改善や受診しやすい環境づくりなど工夫が必要です。
			2 ウイルスの感染に起因するがんに対する取り組み	肝炎ウイルス検診受診率										
			・B型・C型肝炎ウイルス検診の受診率50%にします	48.6%	411人	40歳の未受診に対し受診勧奨通知を発送	9月	2,563通						
			・B型・C型肝炎ウイルス陽性者の重症化予防の実施率を100%とします	100%	100%	陽性者への受診勧奨確認 陽性者に受診勧奨の通知、電話実施		1名						
			・胃がんリスク検査の受診率を30%とします	28.5%	19.5%	年度当初のがん検診案内及び10月には再勧奨を行った。		対象者5,698名 受診者1,109名						
(2)	がんの早期発見を推進（2次予防）します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P44～	健康課	1 科学的根拠に基づいたがん検診の実施 ・国の指針に基づいたがん検診を実施	がん検診の実施率	100.0%	100.0%			概ね順調	精密検査未受診者率は下がったが、大腸がんの精密検査対象者で75歳以上の未受診者が多い。後期高齢者については今後の国の指針のもと医療機関に働きかけていくことを検討していく	概ね順調	受診率向上のための受診勧奨に更なる工夫を行うなかで、仕事や家事に支障がない検診機会の提供も検討していく。また、精密検査未受診者に対して医療機関と連携を取るなど体制をつくっていく。	受診率向上のための努力は評価できます。引き続き受診勧奨の工夫と、医療機関との連携を図り、精密検査未受診者を減らすための働きかけを行ってください。	
			2 がん検診の質の向上	大腸がん精検受診率	64.0%	63%（平成30年度がん検診受診者分）	精密検査未受診についてアンケート調査及び、電話での聞き取り、必要に応じて医療機関に連絡	精密検査対象者 1485名 精密検査受診者 936名 （個別 集団 分合算）						
			3 がん検診の受診率の向上	乳がん検診の受診率	20.0%	3584人	・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布 ・イオンモールにてピンクリボンキャンペーン開催 ・乳がん触診モデルを乳幼児健診会場に設置し教育を実施	無料クーポン 発送数 6,026通 その他勧奨通知 4,576通						
			乳がん検診の受診率向上	子宮頸がん検診の受診率	18.6%	3127人	・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布	無料クーポン 発送数 5,344通 その他勧奨通知 3,099通						
			子宮頸がん検診の受診率向上											

主管課評価											評価推進委員会		
No.	中目標	担当課	年度目標	R1実績		実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
				RI目標	RI実績								
(3)	<p>がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します。</p> <p>第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P50～</p>	学校課	<p>小学生・中学生の頃からのがん教育のさらなる推進を図ります</p>	<p>がん教育の実施率</p> <p>84% (21校)</p>	<p>100% (25校)</p>	<p>○日野市立病院菊永医師による出前授業を小学校6校、中学校2校に実施した。</p> <p>○がん教育は小学校体育の保健、中学校保健体育科保健分野において、小中学校全校で指導している。</p> <p>○R1年7月31日に日野市立小・中学校の教員を対象に以下内容の研修を実施 ・菊永医師によるがん教育に関する講演</p>	<p>小学校6校、中学校2校 全8回実施</p> <p>全1回実施</p>	達成	<p>小中学校25校全校で実施することができた。がん教育に特化して指導している学年がない学校への実施</p> <p>達成</p>	<p>達成</p> <p>今後も継続して取り組みに努める。 教育内容を工夫して、小・中学生がより、がん予防のための行動を理解し実施できるような内容を目指す。</p>	達成	<p>小中学校でのがん教育の実施が定着しており評価できます。今後も継続して取り組み、学校現場との意見交換を重ね、多くの児童生徒にがん教育が浸透するよう働きかけていってください。</p>	
(4)	<p>がん患者やその家族への支援をすすめます</p> <p>第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P55</p>		<p>大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」P83～により評価します。</p>										

大目標	3. 歯とお口の健康づくりを推進します
	目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます
	目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します

「達成状況の項目」	
・達成	: 指標が10割または完全に達成
・順調	: 指標が8割達成または順調に進んでいる
・概ね順調	: 指標が5～6割達成、進んでいる
・一部見直し	: 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
・全面見直し	: 全面的な見直しを要する

		主管課評価								評価推進委員会				
No.	中目標	担当課	年度目標		実施内容	R1年度 件数等	年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題		
			R1目標	R1実績										
(1)	【乳幼児期】歯みがきや嘔む習慣を身につけ、むし菌のない健康なお口を育てます 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P59～	健康課	1	1. 6歳でむし菌ある児の受診率 1歳6か月児でむし菌のある子どもの歯科受診を支援する	100%	100%	1歳6か月児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した。	受診勧奨人数: 3人	順調	歯科健診時にむし菌がある児(ハイリスク)や今後ハイリスクになる危険因子がある児のすべての保護者に対し、歯科医師や歯科衛生士による受診勧奨を行った。当日、時間がとれない場合は、後日、歯科衛生士が電話フォローを行った。歯の健康は家庭での保護者の意識に左右されるので、引き続きハイリスクの場合は、生活環境などとの関わりについても保健師と連携をとり適切な支援に繋げていく。フッ素入り歯磨き剤はセルフケアとして使用している保護者も増えており、広く浸透している。	順調	関係職種連携のもと、今後も継続して取り組みに努める。	順調	目標に近い実績をあげています。今後も継続してハイリスク児の保護者に対し徹底したフォローを行ってください。
			2	3歳でむし菌ある児の受診率 3歳児でむし菌のある子どもの歯科受診を支援する	95%	100%	3歳児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した。	受診勧奨人数: 41人						
			3	ハイリスク児の歯科受診を支援する	100%	100%	健診時、カンファレンスに上がった子(ハイリスク児)に保健師と一緒に受診勧奨を行った。	受診勧奨人数: 4人						
			4	保護者の仕上げ磨き実施率 3歳児で仕上げ磨きの毎日実施している保護者の割合	100%	98.9%	健診アンケートから「仕上げ磨きしていない子」を抽出し保護者に直接指導を行った。	指導人数: 15人						
			5	自宅でのフッ素利用率 3歳児でフッ素(歯磨き剤等)を使用して口腔ケアをする保護者の割合	77%	74.5%	1歳6か月児健診時にはパンフレット配布によるフッ素の情報提供を実施。3歳児健診では歯科医からの直接指導を行った。	フッ素(歯磨き剤等)の使用人数: 1057人						
(2)	【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし菌と歯周病を予防します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P66～	学校課	1	小6までむし菌ない子 12歳(小学校6年生)で永久歯にむし菌経験がない子どもを増やす	83%	85.2%	学校歯科医による学校での歯磨き指導やむし菌予防月間における歯磨き指導に取り組んだ。	歯磨き指導の取り組み効果が出ている。	順調	目標数値に達成している。歯科教育の成果が結果に出ている。	順調	目標数値をほぼ達成された。今後も歯科指導を通じ、歯科治療の重要性について指導に努める。	順調	中学生の実績値が少し下がっていますが、今後も関係者の連携した取り組みを継続してください。
			2	中1で要治療+受診した割合 中学1年生の要治療者が歯科医院を受診する割合を増やす	60%	57.0%	歯科受診が必要な生徒は受診勧告を行い、未受診者には、9～11月に再度受診のお知らせを配布した。	中学生の未受診者に対する意識づけが課題となる。						

		主管課評価								評価推進委員会				
No.	中目標	担当課	年度目標		実施内容	R1年度		年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題	
			R1目標	R1実績		件数等								
(3)	<p>【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に検診を受診し自己管理方法を習得することでお口の健康および全身の健康を守ります。</p> <p>第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P71～</p>	健康課	1	お口の健康診査（歯周病検診）の受診率を上げる	15.5%	8.9%	<p>・歯科衛生士が地域に出て健康教育を行い、全身の健康との関連性等の周知啓発を行い、受診を促した。</p> <p>・乳児健診時の健康教育にて、保護者に対し、子へのむし菌の感染予防の観点から、受診の必要性を周知した。</p>	受診者数：2314人	概ね順調	各年代による受診の必要性に応じた受診へのアプローチを検討、検証し、実践したが、受診率は前年度とあまり変わらなかった。すでにかかりつけ歯科医をもっていて、何もなくても定期的に通っているため市のお口の健康診査は受けてないという方もいるので、未受診世代を分析し、受診率と定着率との分析の必要性がある。	概ね順調	各年代における受診の必要性は変わってくると予想し、周知の方法や受診率が伸びない理由を検証し、啓発と周知活動の工夫をしていく。	概ね順調	おおむね順調ですが、若い世代や働き盛りの世代の人たちのアプローチ方法への工夫が今後の課題です。
			2	お口の健康診査（歯周病検診）の受診者がかかりつけ歯科医に定着率を上げる	-	-		※定着率については市民アンケートを未実施により評価なし。						
(4)	<p>【高齢期・障害のある方も含む】自分にあった口腔ケアを実践し、しっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます。</p> <p>第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P78～</p>	健康課		飲み込み機能低下者への支援体制を展開する、また地域でのフォローできる体制づくりをする。	-	-	<p>チェックリーフレット発送</p> <p>健康教育及び周知啓発実施</p>	<p>14,911通（65-74歳）</p> <p>13回282人</p>	概ね順調	前期高齢者にリーフレットを発送したが、反響が少なかった。リーフレットの発送対象年齢を引き上げるとともに、地域での健康教育や広報等による周知啓発をすすめていく。	概ね順調	連携システムの広がりやチェックリーフレット発送で周知していることについては順調である。今後需要が高まる事業のため、さらなる健康教育の実施が重要であると思われる。他機関との連携を継続していく。	概ね順調	連携システムについては順調です。前期高齢者だけではなく対象年齢を上げ、飲み込み機能低下について周知啓発をさらに進めてください。

4. 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します(地域包括ケアシステムの構築)

「達成状況の項目」
 ・達成：指標が10割または完全に達成
 ・順調：指標が8割達成または順調に進んでいる
 ・概ね順調：指標が5～6割達成、進んでいる
 ・一部見直し：指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
 ・全面見直し：全面的な見直しを要する

主管課評価										評価推進委員会			
No.	中目標	担当課	年度目標	R1年度		実施内容	件数等	R1年度 年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題
				R1目標	R1実績								
(1)	総合的な健康情報の発信の体制を確立します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P83～	健康課	1 健康情報誌「ひのイキ」を定期発行する	100%	100%	年2回のひのイキ発行を実施。テーマは9月15日号「五感を意識した生活」、2月15日号「消化器」。	年2回	達成	ひのイキは年2回発行(テーマ9月15日号「五感を意識した生活!」、2月15日号「消化器」)。「ポケットナビ」は妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法を案内し利用を促した。フェイスブックは1回/月定期更新。新型コロナウイルスの情報も随時更新をした。フォロワー数218(令和2年4月)。メディアの他、各イベントでの健康事業啓発の際、キャラクターを使用した配布物や職員が身に着けているものにキャラクターを配置するなど、情報拡大のきっかけ作りに努めている。	達成	順調に情報発信を行っている。今後もどの世代でもわかりやすく見やすい内容になるよう工夫をしていく。	達成	情報発信の体制は確立されたため、読み手を意識し、発信側の自己満足にならないようにすることと、受け取る人を増やす努力を続けてください。
			2 子育てサイト「ほけつとなび」による情報発信を充実する。	100%	100%	妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に個別に利用方法等案内	妊娠届出時、約1500件 赤ちゃん訪問時、約1500件に利用案内をした。						
			3 広報、ホームページによる情報発信を工夫する	100%	100%	広報、ホームページへの工夫	ひのった健康ノートなどを通じて、年間17回情報発信						
			4 メディアによる情報発信を工夫する	100%	100%	フェイスブック運用実施	フェイスブックを1回/月更新。フォロワー数218(令和2年4月)。						

主管課評価										評価推進委員会			
No.	中目標	担当課	年度目標		R1年度		R1年度 年度評価	達成状況と課題	達成状況	評価と課題	達成状況	評価と課題	
			R1目標	R1実績	実施内容	件数等							
(2)	医療と介護の連携を推進します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P85～	在宅療養支援課	1	在宅高齢者療養推進協議会の核とした介護と医療の連携推進と強化をする	—	—	①「在宅高齢者療養推進協議会検討部会」及び「医療と介護の連携推進勉強会」を開催した。(各3回) ②地域包括支援センター主催の地域別勉強会を開催	①各3回 ②31回 延べ1,171人	関係多職種による検討部会及び連携推進勉強会は新型コロナウイルス感染症の影響で各4回開催予定のところ3回の実施となった。これを契機に会議や勉強会の方法や運営方法について検討が必要(人が集まらなくても良い方法など) 検討部会員の団体以外の人の参加(栄養士、セラピスト、老健ほか)について検討が必要。	概ね順調	概ね順調	多職種との連携が不可欠となるので、さまざまな問題点などを共有し、意思疎通を図りながら進めてください。	
			2	在宅療養支援に関する専門相談窓口での対応と在宅療養に関する普及・啓発をする。	—	—	①市立病院に相談窓口の運営を委託 ②市民揮発用のリーフレット作成(検討部会)	①2,048件(前年度比128件減) ※在宅療養支援課 97件 ②3000部	①市立病院に委託している相談窓口の相談内容は市立病院に関することが大半なので、市立病院以外の内容の相談については在宅療養支援課でも対応することを周知していく ②在宅療養に関するリーフレットは日野市では初の試みなので、市民や関係機関の反応を見ながら内容を継続的に精査していく				
			3	在宅医療・介護の連携体制の構築、連携拠点の整備をする	—	—	①関係機関とのネットワークづくり ②スーパーバイザーによる事例検討会の実施	①市内医療機関との連携構築の継続と、市外病院(59件)へ在宅療養支援課のリーフレット送付 ②延べ236名参加 水道局や動物愛護センターなども参加	ネットワークづくりの実績は指標として評価が困難であり、担当者による部分も大きい。医療機関との継続的なコミュニケーションをとりつつ、担当者が代わっても関係性を継続できる仕組みづくりを検討していく必要がある				
			4	在宅医療・介護サービスを一体的かつ切れ目なく提供できる体制整備をする。	—	—	在宅療養高齢者の病床の急変時等の緊急一時的な受け入れ先として、日野市立病院の病床を過年で2床を確保。	入院患者実人数59人、入院延べ日数514日、病床稼働率70.2%(前年度比5%増)	タイミングによっては、2床が満床で受け入れができないケースも散見されており、また、今後ニーズが増大することが見込まれるので、市立病院以外の病床確保の検討が必要。				
				大目標2-(4)がん患者やその家族への支援 患者家族をサポートする体制づくり	—	—	①在宅医による緩和ケア講座の実施(イオンホール) ②市立病院の患者会のがんカフェへの保健師の派遣	①156名の参加 ②毎月参加	市立病院の患者・家族以外への支援や情報提供・体制整備について検討を進める必要がある。				
(3)	地域連携による認知症対策を強化します 第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P87～	高齢福祉課	1	認知症サポーターの養成や認知症高齢者徘徊発生時の捜索ツール「靴シール」の導入	—	2,378人(R元年度までの累計数18,793人)靴シール利用者数308人(SOSネットワーク登録者のうち88.0%)	認知症サポーター養成は地域包括支援センターに業務委託して実施。 認知症サポーター養成は16回(603人)・大学4回(206人)若年層における延べ受講者数は1,685人 靴シールの利用者は、令和元年度末で308人(認知症SOSネットワーク事前登録者の約88.0%)	若年層への取り組みとして、校長会で働きかけを実施。小学校、中学校の実施回数および養成人数が大幅に増加した。靴シールの利用者は順調に増えており、実際の徘徊時に装着しているケースやシール装着により発見に至るケースが増えている。	順調	順調	認知症サポーターの養成や靴シールの導入はいつでも順調に進んでいる。地域で見守られる体制や取り組みを今後も継続していく。		
			2	「医療連携型認知症カフェ」及び「認知症初期集中支援チーム」の設置をする	—	平成29年7月に設置済み	「認知症初期集中支援チーム」相談件数・実数15件(初回相談件数)、延べ数20件、訪問件数:実数40件、延べ数129件 「医療連携型認知症カフェ」名称:森の茶屋 毎月第1月曜日、第3木曜日 10:30～15:30 *令和2年3月は新型コロナウイルス感染症予防のため中止	「認知症初期集中支援チーム」では、未受診、受診拒否など受診にかかわる相談、家族の介護負担等ケアに関わる相談などがあった。支援対象者16人(平成30年度より継続含)に対し、延べ129回の訪問を行い、そのうち9件は、医療につながったり、介護サービス等につながった。令和2年度は七生病院にチームをつくり、2チーム体制で実施する。 「医療連携型認知症カフェ」の利用延べ人数は419人と増加した。市民への周知方法の一つとして『「オレンジ広場」一覧』を作成した。また、医療連携型認知症カフェとオレンジ広場(市内認知症カフェから名称変更)の連携をはかるため、オレンジ広場交流会を実施した。					